

No. 1624

日韓新時代へ

—— 盧・韓国大統領来日 ——

韓国の盧泰愚大統領が国賓として5月24日来日、赤坂・迎賓館での歓迎行事に出席しました。

盧大統領の来日は昭和天皇のご病気などで延期され全斗煥前大統領以来6年ぶり。天皇陛下のご紹介で皇太子殿下、海部首相と握手のあと式典に臨みました。

皇居で天皇、皇后両陛下と会見。天皇陛下とは大統領が一歳年上であること、おたがいにテニスが趣味でテニス談義に花が咲きました。

夕方、第一回首脳会談および全体会議が行なわれ盧大統領は「20世紀のわだかまりをすてて21世紀の真のパートナーとしての関係を作りたい」とのべ、海部首相も「日韓両国が力を合わせ新秩序形成に参加したい」と表明しました。

夜、韓国大統領歓迎の宮中晩さん会が行なわれ天皇陛下から両国間の不幸な過去にふれ「わが国によってもたらされたこの不幸な時期に貴国の人々が味わわれた苦しみを思い、私は痛惜の念を禁じえません」とお言葉をのべられました。

翌25日盧大統領は衆議院本会議場で衆参両院議員を前に韓国大統領として初めての国会演説を行ないました。

桜内衆議院議長のあいさつのあと盧泰愚大統領は「過去のしこりを消しさるための勇気と努力を訴え両国が真の隣人にふさわしい関係を結ぶ同伴者として太平洋時代を開くために協力しよう」とのべました。

「過去の清算」に一応の区切りをつけた今回の盧大統領の訪日はこれからの日韓両国の友好、発展につながるスタートとなったと言えそうです。